

じっくり心をこめて

スロー フード

84



大根とにんじんのくるみあえ

根菜にくるみと豆腐のしっとりとした和え衣がよく合います。くるみの風味がアクセントになります。

青菜や山菜と和えてもおいしいです。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善研究会 の皆さん

材 料 (4人分)

- ・大根 400g ・にんじん 200g
- ・くるみ 100g ・砂糖 100g ・豆腐 200g
- ・塩 少々 ・酢 少々

作り方

- ① 大根とにんじんは千切りにし、それぞれに茹でて軽く水分をしぼっておく。
- ② 豆腐はさっとゆでて、ふきんでしぼる。
- ③ くるみをすり、砂糖・塩・豆腐を加え、ごまだれを作り酢を少々入れる。
- ④ ③に、大根・にんじんを入れ加える。

せきかわ文芸

短 歌

少女期を共に子守し友偲び
逢われることなく八十路に向かう

須貝 恵美
(高田)

いとどしく吹雪ける音に堪え兼ねて
あらぬ廊下に落つる梁塵

小池 啓子
(下関)

穏かな節分を迎え福は内
鬼の力も借りたい除雪

佐藤 庄七
(愛広苑)

七人のおみな集いし部屋内に
古稀祝うがに春日入りくる

渡辺千恵子
(上関)

雪原のつづく田の面は靄^もがたち
冷気ただよう凍みわたる朝

山口 藤枝
(辰田新)

関川俳句の会作品

雪降し見上げて若さ欲しくなり

渡辺しづい

ブランコを揺らし合いたる日は昔

渡辺しづい

籠り居て為す事もなく冬日暮れ

南 セツ

鍋料理続く吹雪の夕餉かな

南 セツ



船山義次郎は昭和四年四月七日関川村下川口に船山堅松の二男として生まれた。関国民学校在学中、昭和十六年に当時一校に一人の健康優良児として県より表彰された。昭和十九年四月

近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

船山義次郎

一日、日本国有鉄道片貝線路班に就職。昭和二十一年帰還を待ち侘びていた兄戦死の報が入り、国鉄を退職して船山家の跡継ぎとなつて農業に従事した。

昭和五十八年八月村民から推されて関川村議会議員に初当選し、以来三期十二年間の永きにわたり議会の円滑な運営に尽力

関川村議会総務厚生常任委員、会正副委員長の要職を歴任し、持ち前の優れた才知と適切な判断力、高邁な政治信念をもつて関川村の伸展と村民生活の向上に多大な貢献をした。昭和六十二年、かねてから公衆衛生、公共の福祉の見地から設置の要望があつた村営の墓地「白山霊園」の完成をみた。当霊園が完成に至るまでには船山義次郎が関係機関や議会関係者に対して設置の必要性を説明し理解を得るなどの功績によるところが大きい。また村民体育館、安角小学校新校舎などの教育関係施設の施工をはじめ、高齢者生活福祉センター「ゆうあい」の整備推進に積極的に尽力した。村の教育振興、環境衛生、社会福祉に資する各種社会資本の整備に事業推進役として果した功績は大きい。船山義次郎はそのほか、民生委員、農業委員、農業共済組合理事など多くの公職を歴任し活躍した。そして下川口集落の総代

や区長を永きにわたつて務め、公平で公正な集落運営に取り組むとともに集落住民の融和推進に尽力した。特筆すべきことは昭和六十年頃から始めた下川口の郷土史の研究である。

下川口の庄屋を代々務めた彦右衛門家文書を譲り受け、独学で古文書を解読した。その成果をスクラム九ヶ谷だよりに「郷土史特集」として平成十一年から三回にわたつて発表。そして平成十七年に「大字下川口歴史探訪」「下川口と戊辰戦争」を著した。さらに平成十九年「下川口郷土史年表」をまとめ発表した。郷土史の研究に果した功績は誠に大きい。船山義次郎は少年時代から山が好きであつた。昭和二十七年友人と二人で杣差岳から飯豊連峰を縦走し雄大な景観に感動した。その経験を生かして杣差岳登山道や温平から北又岳までの道なぎに参加し登山道の整備に尽力した。平成二十二年十一月五日八十一歳でこの世を去つた。旭日単光章を授章。

■主な研究文献

- ・ 大字下川口歴史探訪
- ・ 下川口と戊辰戦争
- ・ 下川口郷土史年表

○船山家の系図

先祖：佐市郎―福太郎―堅松―義次郎―義雄

せきかわ文芸

寄鍋を囲む家族の温かき：

渋谷 くに

雪卸すんで安堵の深ねむり

渋谷 くに

朝市や大きな鰯の半身かな

青木 慶一

雪を消す毎日なれど春を待ち

青木 慶一

せきかわ川柳会作品「揺れる」「鼻」「雑詠」

要するにマスクが隠す天狗鼻

渡辺しづい

南天の雪をけ散し小鳥逃げ

渡辺しづい

誘われて心が揺れる春の旅

南 セツ

へソクリに鼻をきかせる妻の勘

南 セツ

豪雪に春待ち遠し雪模様

平田 千恵

聞き上手心の揺れをさぐり出す

平田 千恵

大噴火自然の怖さ知らされる

本間 イミ

歳の神厄を包んで天高く

本間 イミ